

平成26年度第2回千葉市若葉区公民館運営審議会議事録（議事要旨）

1 日 時 平成27年3月12日（木）14時00分～15時35分

2 場 所 千城台公民館 セミナー室

3 出席者 （委員）

内山委員長、大澤副委員長、木川委員、鈴木委員、但田委員、猪野委員

深山委員、成田委員、江崎委員、横田委員、森谷委員、近藤委員

（事務局）

鶴岡館長（千城台公民館）、小出館長（更科公民館）、中川館長（白井公民館）

深山館長（加曽利公民館）、押尾館長（大宮公民館）、中村館長（みつわ台公民館）

徳増館長（若松公民館）、盛合館長（桜木公民館）、山老副館長（千城台公民館）

山本主査（千城台公民館）

4 議 題

（1）平成27年度若葉区公民館の事業計画案について

（2）その他

5 議事の概要

（1）開会（事務局）

（2）内山委員長あいさつ

（3）千城台公民館鶴岡館長あいさつ

（4）議事録署名人の指名

内山委員長が但田委員及び森谷委員を指名し、承認された。

（5）議題

議題1「平成27年度若葉区公民館の事業計画案」は承認された。

議題2「その他」は特になし。

（6）閉会（事務局）

6 会議経過

（1）議題1 平成27年度若葉区公民館の事業計画案について

（内山委員長）そば打ち教室だが、今年受講した人は、来年は受講できないのか。1回ではなかなか覚えきれないと思うので、今年受講して、また来年も受講するというのはできるのか。

（深山館長）加曽利公民館では、今年度1回の予定だったが、キャンセル待ちが多いので、2回開催することとしたが、特に制限はしていないので、同じ人が来るかも

しれないが、受講者名簿を見る限り、同じ方が何回も受講することはないと思う。特に制限はしていない。

(鶴岡館長) 千城台公民館も、加曽利公民館と同じ。単年度事業という形でやっているの、翌年度に同じ方が来ても受け付けする。一度で覚えるのは難しいが、皆さん大変よく出来ていて、自宅に帰ってやってみようという声も多数出ている。

(深山委員) それぞれの公民館で、地域に合った特徴のある事業が計画されていて、行って見たいという講座がたくさんあって、27年度も好評を受けると思った。1点質問だが、桜木公民館の映画会の内容について説明していただきたい。

(盛合館長) 読み聞かせと映画会ということで、映画会では、子どもたちが好きそうなアニメを借りてきて放映している。子どもたちも、読み聞かせだけだと物足りないようなので、その後に、心を楽しくさせるアニメをやって、心が和やかになって帰るというスタイルである。

(深山委員) 子どもたちも喜ぶと思う。

(但田委員) 若松公民館のスポーツチャンバラ体験だが、講師がいるのか。私たちが知っているチャンバラなのか。

(徳増館長) スポーツチャンバラといって、団体があって、若松公民館のサークルでやっている方が指導している。防具を付けて行い、女の子もいて、楽しくやっている。昨年か一昨年に、千葉テレビでも紹介されたようである。

(但田委員) 防具は大変なものか。

(徳増館長) 簡単なものである。チャンバラの道具は痛くない、柔らかいものである。

(但田委員) 剣道のようにはないのか。

(徳増館長) 剣道ではない。ルールがある。当たっても痛くない。

(江崎委員) 更科公民館の文化祭で、スポーツ大会をやっているようだが、これは、地域の体育指導員に見てもらうという形をとっているのか。

(小出館長) 更科公民館には、テニスコートが2面とグラウンドがある。経緯は、最終処分場ができる計画の中で、地元と市の交渉の中で地域還元施設ということで出来ていて、テニスコートとグラウンドの所管は、環境局の資源循環部施設課。地元の方に使っていただくということで、公民館で予約受付とか貸出を行っている。テニスコートは、年間4,000名以上の利用があるが、硬式・軟式合わせて十数のサークルがあって、硬式の方は、テニスサークルの連絡協議会がある。そちらの方で幹事を決めて、春の交流大会とか冬季大会などを計画していて、その年間スケジュールの中に、文化祭のスポーツ大会が位置づけられている。

従って、運営は、サークルの代表の方が連絡を取り合っている。バレーボールは、公民館から自治会に連絡を取って、スポーツ振興会と連携を取りながら、中学校の体育館を借りてやっている。文化祭の一環ではあるが、施設の利用の関係もあって、日程的にずれてやっている。スポーツ部門が先にあって、学芸部門が後にやるという形になっている。

(江崎委員) 施設を持っているので、大変いいと思うが、各地区には体育指導員がいるので、そういう方を有効に活用して、指導してもらったらいいいと思う。クラブ活動で自主運営されている形だが、市の指導員を有効に活用したらいいと思う。

(小出館長) バレーボールは、審判その他でご協力いただいている。テニスはサークルで運営している。バレーボールは、振興会を通して指導員の方が黄色のポロシャツを着て、審判等をやっていただいている。

(近藤委員) 27年度の事業計画案を伺って、各館、大変工夫されていて、新しい事業の計画も多くて、魅力的な事業があると感じた。社協や警察等との連携や、高齢者向けの事業もあって、地域に合った内容で、とてもいいと思った。千城台公民館の夏休みの子ども陶芸教室だが、回数が3回で、定員が10名となっているが、これは、同じ人が3回受講するのか、10人が毎回違うメンバーで実施するのか伺いたい。

(鶴岡館長) 10名の方が3回という形で予定している。同じメンバーが受講する。3日間で出来上がるということである。

(横田委員) 大宮公民館の菊づくりは1年がかりだが、公民館で指導しているのか。

(押尾館長) 学校連携になっているので、学校を会場で行っている。

(横田委員) 学校で育てたものは、毎月、学校でケアをしているのか。

(押尾館長) 菊づくりの指導者が、成長過程の中の「菊づくり計画表」を作る。苗の挿し穂だとか植え込みとか三本仕立てをいつやるとか、そういう計画書を作る。その計画に基づいて学校を訪問し、5年生を対象に、授業の中で菊づくりの指導を逐次行っていく。

(横田委員) 1回単位の講座ではなくて、時間をかけてできるのはいい。学校の授業ではやらない種類のことをできるといいなと思う。

(押尾館長) 菊は、種ではなく、去年の花の新芽を切って、苗床に挿して発芽させて、そこから育てるので、子どもたちはひとしお感激があるはず。去年の花を挿すことによって10月には大輪の花が見られる。その驚きとか、育てていく過程の一つひとつに、驚きと感激と達成感を体験できることになる。

(横田委員) 尊い授業かなと思う。大宮公民館で、ボランティア手編み講座があるが、地域の高齢者への手編みのプレゼントになっているというのは、どんなシステムで、どこへ贈っているのか。

(押尾館長) まず編むことを覚えていただくことで、最初に手編み講座を行って、そこでショールだとか簡単な手袋の編み方を熟知してもらう。講座の期間中に作品が出来上がるので、覚えたテクニックを継続してやっていただく。その材料は、公民館だよりで募って家庭から拠出していただいた材料を使って編んでいただく。出来上がったものを、11月くらいまでに持って来てもらう。それを公民館でまとめて、12月頃に民生委員と連携を取って袋詰めして、配るのは民生委員にお任せして対象者を選んでもらう。

(横田委員) 材料費はどこが負担するのか。

(押尾館長) 材料は、もらったものなので、費用はかからない。材料は、公民館だよりで呼びかけて、いただいたものを使うので、材料費はかからない。

(横田委員) みつわ台公民館の調理室の使い方に関して、鍋とかボウルの中が濡れたままになっていることが見受けられるが、クラブ連協に登録をしないグループが増えているので、調理室の使い方が汚くなっている。公民館に掃除をしてもらうのはいかがなものかと思うし、他の館ではそういうことはないのか。理由としては、調理室を使う団体がクラブ連協から抜けているために、調整の場もないし、話もできない、お顔も見えないということでの影響ではないかという話が出ているが、こういうことへの工夫は何かあるか。

(鶴岡館長) 千城台公民館の場合、グループ連協に加盟している、していないにかかわらず、利用団体の方にきちんと洗っていただいて、元あった場所に戻していただいている。横田委員の言われたような状況は、千城台公民館にはない。隣のコミュニティセンターが3月まで休館ということで、そちらの団体の方もたまに使う場合もあるが、使い方については問題ない。

(小出館長) 更科公民館では、調理室を利用する団体は2つ。郷土料理・太巻寿司とパンづくりのサークルが、それぞれ月1回利用。あとは、主催事業の親子料理教室で年間何回か使うという程度で、間が空いているということもあるが、特に後始末で問題になることはない。強いて言えば、ごみ処理の問題はあったが、終わった後に事務所に持って来ていただいて、こちらで処分しているので、今のところ問題はない。

(中川館長) 白井公民館では、活動が終わった後、職員が点検に行って、ガス栓や水を使った

後は乾いているかとか、オーブンの皿とか点検をしているが、時々見落としがあって、次に使うサークルが汚れていると言ってくることもある。その場合は、使ったサークルに電話をして、注意をしている。

(深山館長) 加曽利公民館では、調理室を使っている団体が少なく、連続して使っているケースがあまりないので、全くゼロではないが、掃除した職員がたまに見つたときは、連絡ノートで連絡している。調理室のことよりも、針が落ちていることが続いていて、非常にこわいので、ちょっと見ただけではなかなかわからないが、それはかなり気にしている。調理室自体は利用団体も少なく、スパンが空くので、次の団体に汚れていると言われたことはない。

(押尾館長) 定期的に使っている団体は使い勝手がわかっているのでもいいが、初めての団体や登録していない団体が申し込みに来た時に、後の方のことを考えて、使用食器や器具についてはあったとおりにきれいに片づけておいてくださいとお願いする。終わった後は、ガスの元栓の確認をするので、概ね目視した範囲の中で、確認はできる。1件あったのは、雨の日に調理室を使った後に床面がドロドロになっていた時は、すぐに電話で呼び出して、掃除してもらった。

(中村館長) ご指摘のとおりだが、昨年の夏以降、利用が増えた。それまで使ったことのない団体が使ったり、小学生中心の団体だったり、男性の高齢者がサークルを立ち上げる準備段階で、そういった方々が月2回程度使っているという状況がある。調理室はインターネットでは公開していない。窓口で対応した中で、利用方法を逐一説明した上で使っていただくということで、ネットの予約からはずしている。そういう工夫はしているが、予約が増える傾向にあるので、団体ごとに注意をしていこうと思っている。包丁等の刃物の管理については、鍵を施錠するなりしてきたが、ご指摘の鍋とか用具の後始末については、これから注意をしていきたいと思っている。

(徳増館長) 若松公民館では、使用している定期団体についてはずっと使っているので問題はない。その他、シーズンとか特別に単発で使う団体もあるが、その時は、最初に利用方法について代表の方に説明している。包丁等については、事務室で管理している。それ以外の食器類、道具類については、ご指摘のようなことがあったら、注意させていただき、新たに使う団体については、最初にそういったことを説明させていただくようにしている。

(盛合館長) 桜木公民館では、調理室を利用する団体は非常に少なく、4団体程度。新しく来た場合には、調理室にも貼ってあるが、使い方を書いた紙を初めて使う時に

読ませている。今まで、特に水漏れとか、そういうようなことはない。もし、そういうことが後からわかった場合は、すぐに連絡するようにしている。使用后すぐに点検に入れればいいが、事務室に1人しかいなくて、点検が後になってしまった場合は、電話をするしかないと思うが、それほどひどい状態は、今までなかった。和室には茶釜があって、茶釜については、前の団体の使い方が悪いという苦情が出たことがあった。内部が湿っていて蓋が閉まっているとか、中を拭いて蓋を開けておかないと困るとかいう苦情があったので、注意事項を書いておいたが、それを読まないで同じような使い方をしている団体があったので、ちゃんと読んでほしいと話したこともあった。

(内山委員長) 予算の少ない中、各館とも大変な事業をやっているようだが、また1年、館長さんを中心に頑張っていたきたい。

(2) その他

委員、事務局ともに発言なし

(問い合わせ先) 千葉市教育委員会生涯学習部

千城台公民館

電話：237-1400